

# 平成 29 年度 みんなで支える森林づくり木曾地域会議

## (第 1 回) 実施概要

1 日 時 平成 29 年 7 月 13 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分

集合場所 長野県木曾合同庁舎 401・402 号会議室

## 2 出席者

### 【委員】

神村光雄委員 (座長)、大屋誠委員、大家八代美委員、長瀬恵敏委員、長湊昭子委員

### 【木曾地域振興局】

増田局長、小田切林務課長、越原企画幹兼課長補佐兼普及林産係長、伊東課長補佐兼林務係長、和合鳥獣対策専門員、小坂副参事兼課長補佐兼治山林道係長 (会議のみ出席)

### 【報道】

中日新聞 桜井祐二記者

### 【傍聴】

なし

## 3 実施内容

(1) 現地視察 13 時 30 分～14 時 30 分

木曾郡上松町芦島地区

平成 29 年度森林づくり推進支援金事業実施箇所を視察し、事務局から事業概要を説明。農地に隣接する山林について、当該事業を活用し野生鳥獣が農地に近づきにくくするよう緩衝帯整備を行ったもの。



(2) 地域会議 14時30分～16時 木曾合同庁舎 4階 401・402号会議室

会議の内容は、以下のとおり

#### 4 地域会議次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶（増田木曾地域振興局長）
- (3) 新委員紹介（大屋誠委員）
- (4) 会議事項



- ①平成28年度森林づくり県民税活用事業の実施状況及び取組事例について
- ②平成29年度森林づくり県民税活用事業について
- ③長野県の今後の森林づくりの方向性について
- ④意見交換

- (5) 閉会

#### 5 会議事項

- (1) 平成28年度森林づくり県民税活用事業の実施状況及び取組事例について
- (2) 平成29年度森林づくり県民税活用事業について

事務局から、平成28年度の県民税活用事業の実施状況について、実績数字や写真等の資料により説明しました。あわせて、平成29年度の県民税活用事業の計画について説明し、ご質問やご意見を伺いました。

#### 【委員の皆さまからの主な意見等】

○平成28年度森林づくり推進支援金の「地域産材を使ったゴミステーション」を整備した事業があるが、できるだけ木を使ってもらいたい。

○税事業である「みんなで支える里山整備事業」とそれ以外の間伐事業について、よくわからないとの意見が複数の委員の方からあったため、事務局から説明しました。

◎平成29年度森林づくり推進支援金の事業計画について意見を伺ったところ、計画どおり進めることで了承いただきました。

(3) 長野県の今後の森林づくりの方向性について

(4) 意見交換

6月2日の県民会議での資料「豊かな森林を次の世代へ～長野県の今後の森林づくりの方向性について～」により、森林税10年間の総括、今後の森林づくりに向けて、森林づくりの改善の方向性について説明しました。

また、木曽地域における10年間の間伐実績、税事業による実績も説明し、ご質問やご意見をいただきました。引き続き意見交換を行いました。

【委員の皆さまからの主な意見等】

○農地が林地化している現状があるが、地目が農地のままだと森林整備事業を入れられない。

○森林整備事業には、再度事業を入れるのに5年経過、税事業であれば10年経過とされているが、現状では、事業実施後3～4年でも整備が必要な山林がある。税事業でも、5年程度で再度事業を入れられるとよい。

○町村職員が森林情報を把握していればよいが、マンパワーが足りずなかなか難しい。森林整備の前提となる条件整備を計画的、専門的に行う人が必要。

○税の使い方について、地域の実情に応じた柔軟な使い方できるとよい。

○窓口となる町村でどれだけ力を入れられるか、スタッフを揃えられるかが一番心配。町村でしっかりとしたスタッフを置くか、広域連合で専門家を配置するなどしないと進んでいかない。

○里山でも、勝手に他人の山に入って、きのこや山菜を採ったら、犯罪となってしまうのではないか。県の資料から、そのように読み取れるので少し危険。

○木は所有者のものだが、その下のきのこや山菜を地域に提供してくれたのが里山。常に山に入ってもらうには、気軽に入っていける仕組みづくりが大切。税金を使ってモデルケースのようなものできないか。

○今は、だれも山に入っていない、道もなくなってしまう。木も茂り放題。自分たちまわりの山でさえみんな入らなくなった。山に入れなくなって、つまらない山になっていることを思うと整備していくことは大事。

○NPOによる森林整備の説明があったが、きのこや山菜などはNPOの人が利用するなどの仕組みができればよい。それにより、人間関係ができれば、また関心もわいてくる。

○外来種ニセアカシアを伐採しようとしても、保安林などの手続きが必要でなかなか手を出しづらい。

◎最後に、前回、前々回同様、木曽地域会議では森林税の継続でまとまっているので、継続を求めるとの話がありました。